

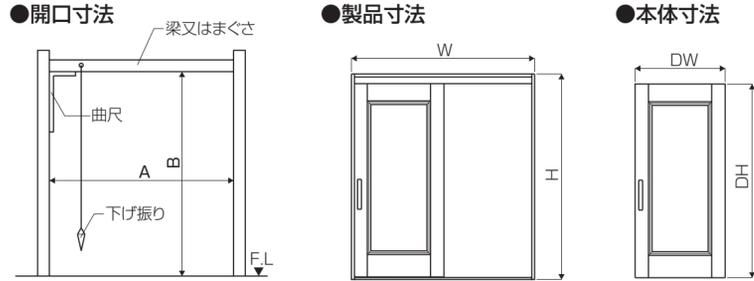
■取付け順序

1 開口部の作成

■取付け手順

1 開口部の作成

開口A寸法=製品寸法(W)+10mm
開口B寸法=製品寸法(H)+5mm



2 電源設置準備

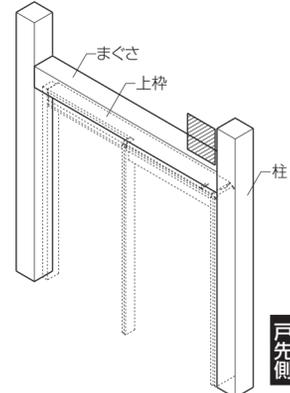
▲注意

●必ず有資格者が行ってください。

※必ず本体の電源スイッチを切ってください。
※枠の納め方(勝手、引込み側)を確認の上、準備してください。

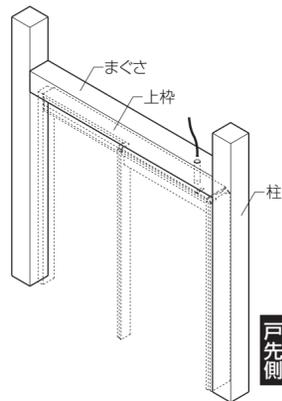
【コンセント仕様】

※戸先側の上枠上部(斜線部)にコンセントを準備してください。



【直結仕様】

※まぐさの戸先側電源線(AC100V)の準備を行ってください。

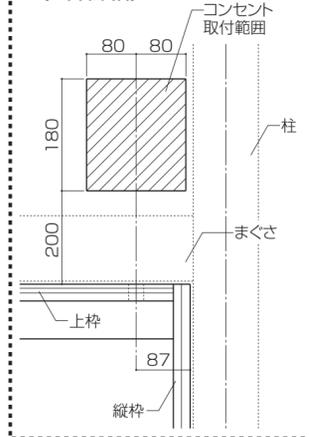


2 電源設置準備

【コンセント仕様】

※左勝手、右勝手とも下図斜線部の範囲内にコンセントの準備を行ってください。

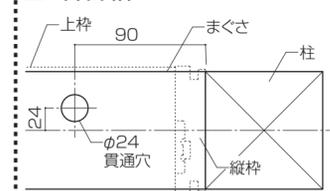
■コンセント取付範囲(A部詳細)



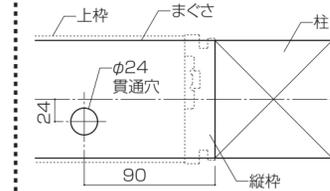
【直結仕様】

※まぐさの戸先側に、電源線(AC100V)の準備を行ってください。
※下図のようにまぐさの戸先側に電源線の配線用穴を加工してください。又、上枠にあらかじめ配線用穴を加工しておりますので、「B」枠の取付け時に穴位置を合わせてください。

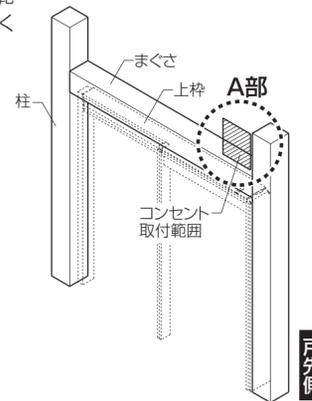
■B部詳細



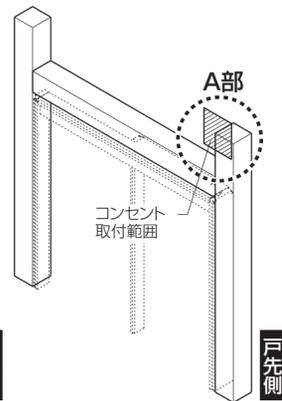
■C部詳細



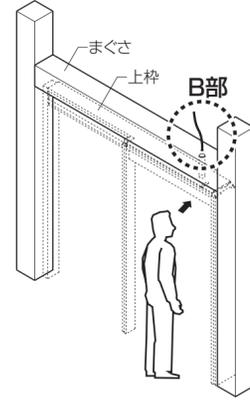
●左勝手の場合



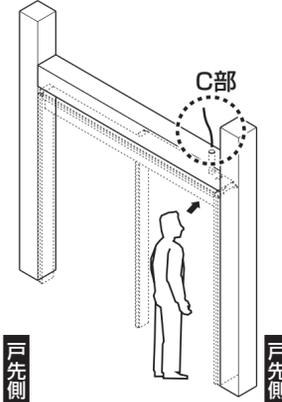
●右勝手の場合



●左勝手の場合



●右勝手の場合



■各種調整方法

■本体の調整方法

●本体の吊車には、上下方向および前後方向の調整機能が付いています。

【上下調整(調整幅+4mm~-2mm)】

●プラスドライバーで吊車中央部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

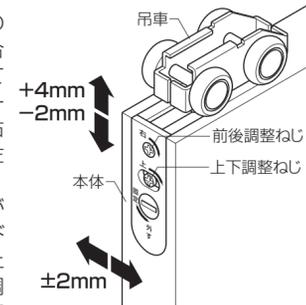
※床面と本体下部とのチリ寸法は、8mmが標準です。

※本体を下げ過ぎるとガイドピンベース部と本体が当たりますので、下げ過ぎないでください。

【前後調整(調整幅±2mm)】

●前後調整は中縦枠と本体のチリが大きい(小さい)場合に実施してください。プラスドライバーで吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと左に動きます。

※前後調整した場合は、本体が常に垂直になるようにガイドピンおよび縦枠下部の振止めの調整をしてください。調整しないと開閉操作に支障が出る原因となります。



■引戸ボトムシール付きの調整方法

1) ガイドピンの位置調整

① 1) で取付けたガイドピンのねじをゆるめます。

※調整する際は、本体を外してください。

② ガイドピンを中縦枠側へ2mm移動し、ねじ止めします。

2) 床見切り用ガイドピンの調整方法

※上記調整方法と同じになります。

●ガイドピン取付けねじをゆるめて、床見切り用ガイドピンのみを左右に動かして調整してください。

3) ボトムシールの飛び出し量の調整

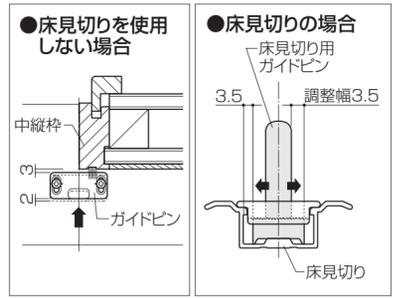
※調整は本体取付け調整(特に上下調整)後に実施してください。

① 本体を吊込んだ状態で、戸先側木口面下部キャップの穴にプラスドライバーを差込みます。

② モヘヤの先端が床に接触する位置まで下げてください。

(最大で15mmまでモヘヤ部は下げられます。)

※開閉操作が重くなるまで下げないでください。



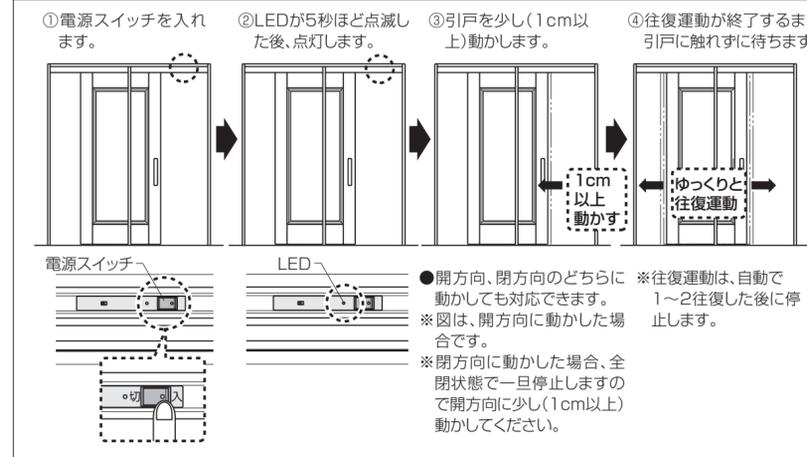
■動作確認手順

●自己学習(開閉ストローク測定動作)……電源を入れると自己学習を始めます。

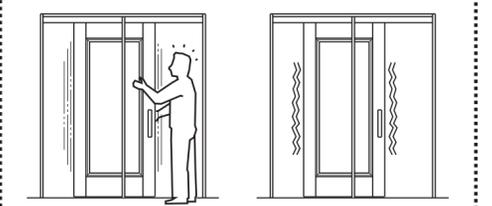
1 準備

※自己学習を行う際、起動センサー(オプション)の検出範囲から離れて行ってください。(検出範囲は本文中に記載)

・起動センサー(オプション):常時感知

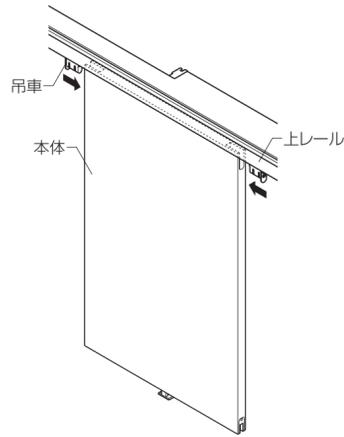


※下記状況のときは、一度電源を切り、自己学習を行ってください。



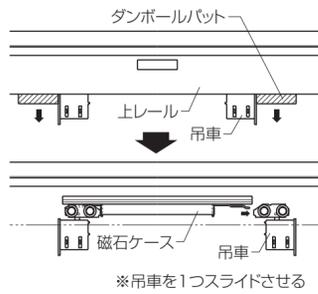
13 本体の吊込み

※吊車をスライドさせて固定します。



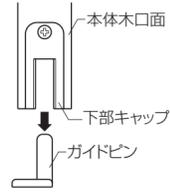
13 本体の吊込み

- ①レールからダンボールパッドを外してください。
- ②磁石ケースから片側だけ吊車を外してください。(どちら側でも外れます。)



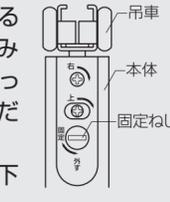
※吊車を1つスライドさせる

- ③本体を持ち上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れてください。(本体を少しなめに入れてください。)



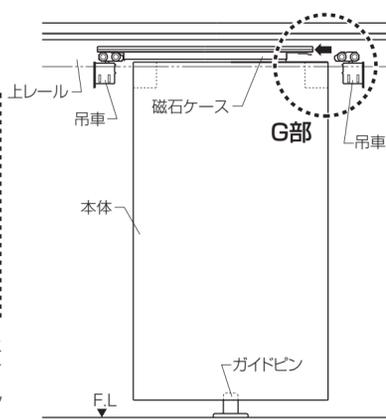
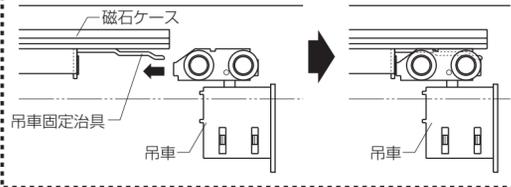
▲注意

●吊車は本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、固定ねじを水平にして、引張っても抜けないことを確認してください。固定されていないと本体が落下するおそれがあります。



- ④吊車を本体に水平に押し込み、固定ねじで固定してください。※吊車の凸部を本体上溝部の凹部に合わせて差込みます。※吊車固定治具を吊車内部にスライド挿入させて取付けます。

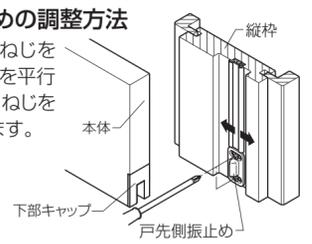
■G部詳細



- ⑤縦枠戸先側振止めの位置を調整します。本体を閉めて、振止めが本体下部キャップとはめ合わせするのを確認してください。入らない場合は、振止めのねじをゆるめて、位置を調整してください。

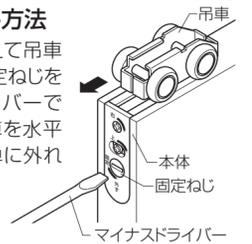
■戸先側振止めの調整方法

※上下2カ所のねじをゆるめ、振止めを平行に動かした後、ねじを締めて固定します。



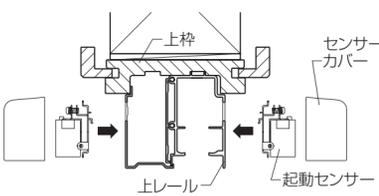
■本体の取外し方法

※本体を手で支えて吊車の木口面の固定ねじをマイナスドライバーで垂直にして吊車を水平に引張ると簡単に外れます。

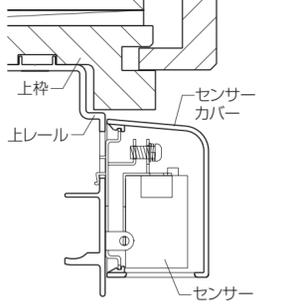


14 起動センサーの取付け (※オプション品のみ)

※センサーコード取付けの前に必ず本体の電源を切ってください。

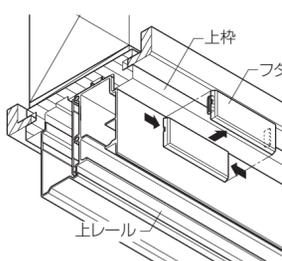


■納まり図

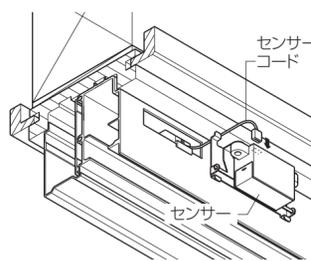


14 起動センサーの取付け(※オプション品のみ)

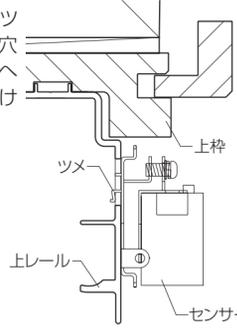
- ①オプションのセンサーを取付ける場合は、フタを外してください。※フタの両サイドをつかみ、若干たわませて外してください。



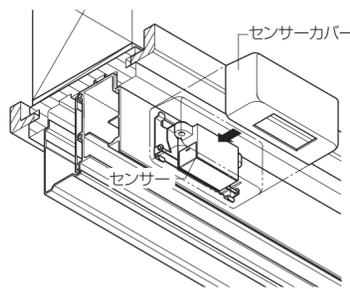
- ②フタを取るとセンサーコードが入っていますのでそれをセンサーに接続してください。



- ③センサー部のツメ(2カ所)を穴に引掛けて下へ押込んで取付けてください。



- ④センサーを取付けた後、カバーを上から押付けるように取付けてください。※「カチッ」という音がするまで押付けてください。



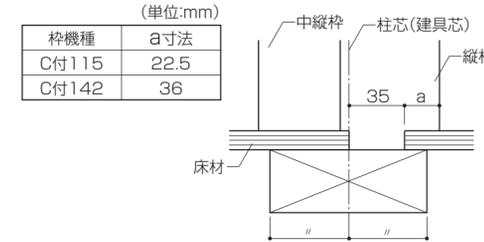
3 床の張り方

3 床の張り方

※本製品は床先張り(枠後付け)専用です。枠の取付け前に床を張ってください。

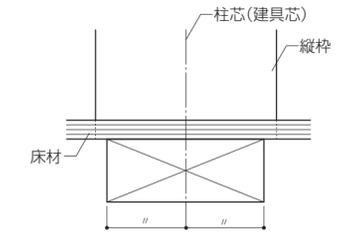
【床見切りを使用する場合】

※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側に35mmあけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所に35mmあけて張ってください。



枠機種	a寸法
C付115	22.5
C付142	36

【床見切りを使用しない場合】

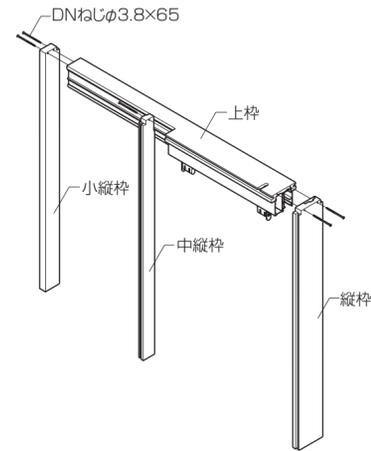


4 枠の組立て

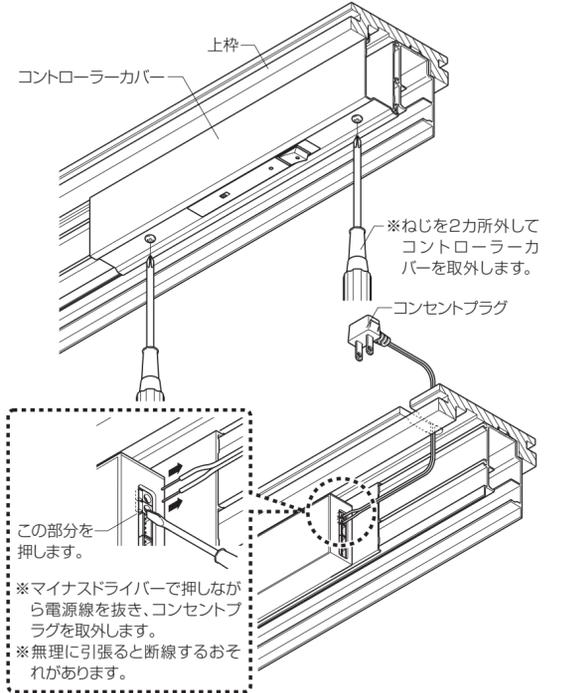
5 コンセントプラグの取外し (直結仕様)

4 枠の組立て

●図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ(DN65φ3.8×65)で固定します。



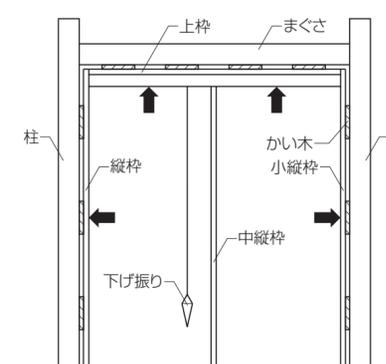
5 コンセントプラグの取外し(直結仕様)



※ねじを2カ所外してコントローラカバーを取外します。
※マイナスドライバーで押しながら電源線を抜き、コンセントプラグを取外します。
※無理に引張ると断線するおそれがあります。

6 枠の取付け

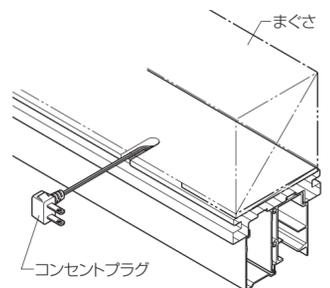
※枠の水平・垂直を確認し、施工誤差は±3mm以下にしてください。誤動作などの原因になります。



6 枠の取付け

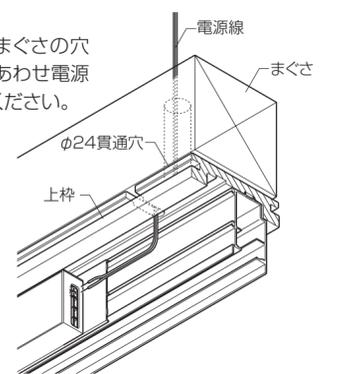
【コンセント仕様】

※コンセントプラグを枠と躯体に挟まないように取付けてください



【直結仕様】

※上枠を取付ける際は、まぐさの穴と上枠の電源配線穴をあわせ電源線を上枠内に挿入してください。



7 電源線 (AC100V) の接続 (直結仕様のみ)

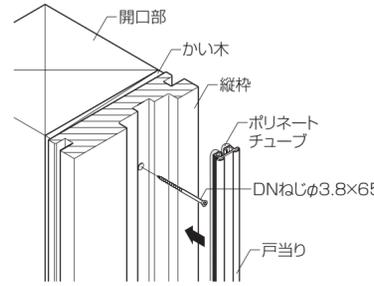
注意

●必ず有資格者が行ってください。

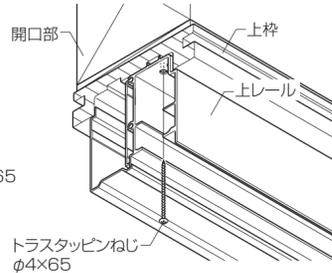
※必ず本体の電源を切ってください。

●開口部と縦枠 (中縦枠、小縦枠)・上枠の間にかい木を入れて取付けます。取付けは、同梱のトラスタッピンねじφ4×65 (上枠用)、DN65φ3.8×65 (縦枠用)、トラスタッピンねじφ4×40 (小縦枠用)を使用します。縦枠は、ねじで固定後 (床見切りを付けた後)、戸当りに同梱の接着剤 (ポリネートチューブ) を付けて溝をふさぎます。小縦枠は、ねじで固定後、押しボタンでねじ穴をふさぎます。

●縦枠部



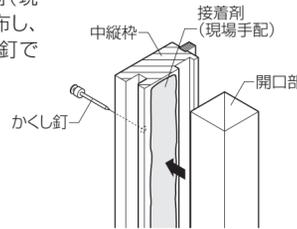
●上枠部



●お願い
※上枠は、梁又はまぐさおよびかい木に木工用ボンド (現場手配) で接着後、ねじ止めしてください。
※片引きの建具引込み部の小壁は、枠を開口部に取付けてから施工します。
※枠の取付け時には、ゆがみ・ねじれなどないように (特に中縦枠) にしてください。
※ポリネートチューブは、付けすぎではみ出さないようにしてください。

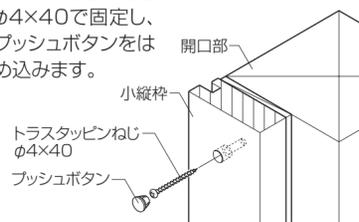
●中縦枠部

※裏面に接着剤 (現場手配) を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



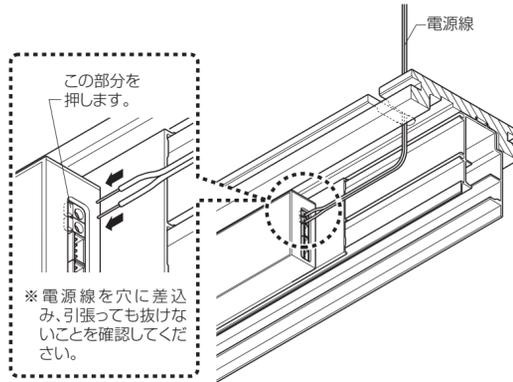
●小縦枠部

※トラスタッピンねじφ4×40で固定し、押しボタンをはめ込みます。



7 電源線 (AC100V) の接続 (直結仕様のみ)

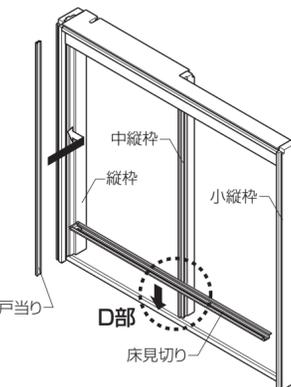
●あらかじめまぐさに加工した穴に電源線を通し、穴に差込みます。



8 床見切りの取付け (床見切りを使用する場合)

※戸当りは必ず、床見切り取付け後に取付けてください。

- ①縦枠下部に取付けてある戸先側振止めをいったん外します。
- ②床見切りに付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
- ③戸当りに同梱のポリネートチューブ (接着剤) を付けて溝をふさぎます。
- ④戸先側振止めを取付けます。

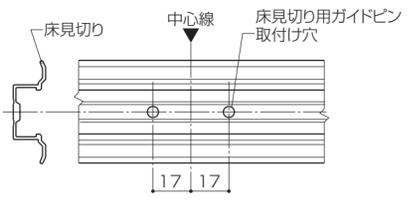


8 床見切りの取付け (床見切りを使用する場合)

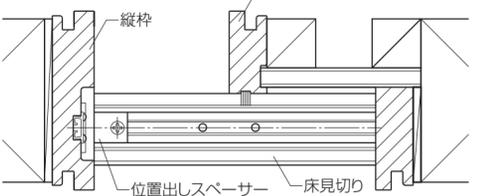
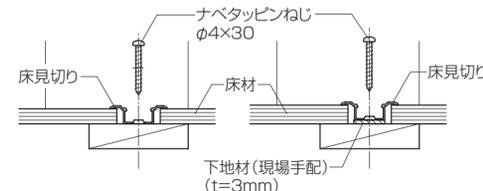
●同梱のねじ (ナベタッピンねじφ4×30) で固定します。
※溝部の中心部の2か所は床見切り用ガイドピンをのちほど取付けますので、あけておきます。

■床見切り

※床見切り取付け穴と床見切り用ガイドピン取付け穴を間違えないように注意してください。下図は床見切り用ガイドピン取付け穴位置です。

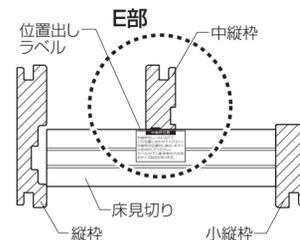


●床材厚さ 12mm ●床材厚さ 15mm



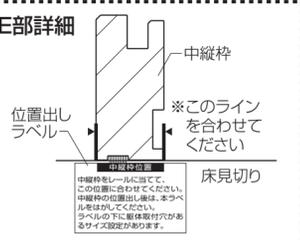
■D部詳細

●中縦枠の位置出しは、床見切りの位置出しラベルに合わせて取付けてください。



■E部詳細

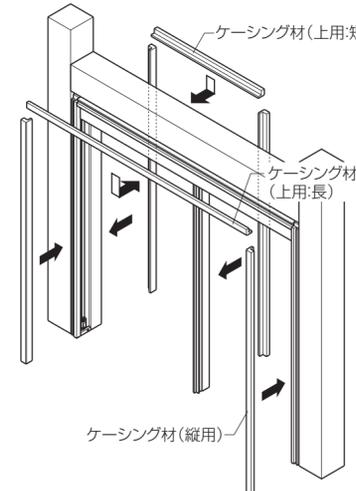
※このラインを合わせてください。



9 ケーシング材の取付け

※壁材、床材を仕上げた後、ケーシング材を取付けます。

- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。横用ケーシング材 (短) にはコード逃がし溝加工部が両端2カ所あけてありますので、片側端部のみカットしてください。
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング裏面に接着剤 (現場手配) を塗布し、ケーシング材を固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



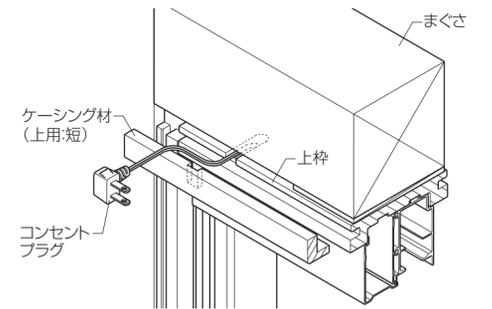
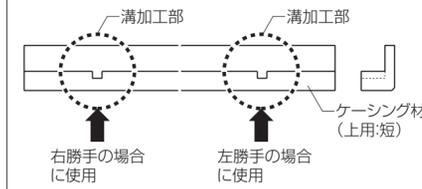
10 幅木の取付け

11 ガイドピンの取付け

9 ケーシング材の取付け

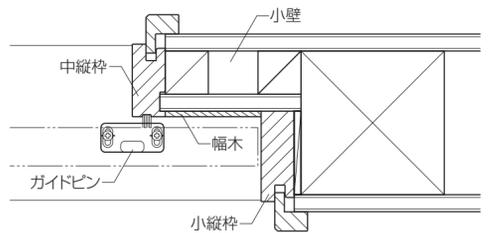
【コンセント仕様】

※コードがケーシング溝加工部にはめ込まれるように取付けてください。



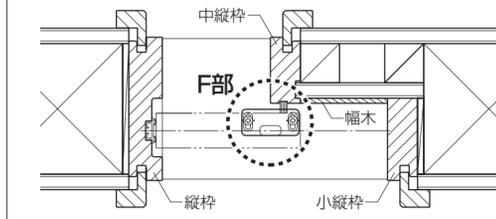
10 幅木の取付け

※小壁のボードと床材を見切るために幅木が同梱されています。現場に合わせてご使用ください。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤 (現場手配) を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは200~300mmです。

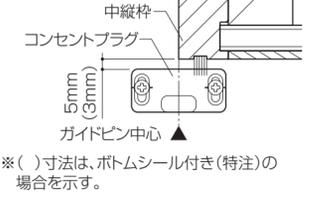


11 ガイドピンの取付け

- ガイドピンを枠に同梱のねじ (皿タッピンねじ) で固定します。※本体の開閉操作に支障が出ますので、正確な位置に取付けてください。
- 図の位置および向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴 (2カ所) の凸印の位置にねじ止めしてください。※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と左右対称の位置となります。

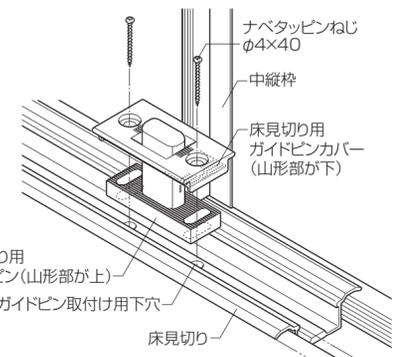


■F部詳細



【床見切りを使用する場合】

※床見切りを使用する場合に床見切りに同梱のねじ (ナベタッピンねじφ4×40) で固定します。床見切りにガイドタッピン取付け用の下穴が、前図のようにあらかじめあいていますので、ガイドピンカバーとガイドピンの中心を合わせて右図のように固定してください。



12 溝ふたの取付け

(床見切りを使用する場合)

12 溝ふたの取付け (床見切りを使用する場合)

※床見切りおよび床見切り用ガイドピンが正しい位置に取付けられているか確認してください。
●溝ふたの端部が、床見切り用ガイドピンカバーにかからない位置に合わせて当て木をし、プラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。

